

(財)日本障害者スポーツ協会

資 料

障害者スポーツ施策の現況と課題について

1 スポーツと障害者

スポーツは人類共通の文化であり、障害者にとっても、その体力の向上・健康の維持・増進、そして豊かな生活実現に大きく寄与することは、一般の健常者のスポーツと同様である。障害の種類・程度により配慮が必要な場合もあるが、本来、スポーツが持つ意味は、健常者のスポーツと何ら変わることはない。

このことを広く国民に理解してもらうとともに、スポーツ施策に反映させていく必要がある。

2 障害者スポーツの現状

1) 主な競技会

① 国際大会

パラリンピック、デフリンピック、世界選手権大会、ワールドカップ

② 国内大会

全国障害者スポーツ大会、ジャパンパラリンピック大会、日本選手権大会

2) 競技団体数

① 日本障害者スポーツ協会 登録団体数 53団体 (別紙資料1)

② 日本パラリンピック委員会 加盟団体数 54競技 61団体 (別紙資料2)

3) 国庫補助金・スポンサー収入 (オリンピックとの比較)

(主な収入)	平成21年度予算 (単位: 億円)	
	オリンピック委員会	パラリンピック委員会
国庫補助金	27.00	3.10
オフィシャルパートナーシップ	19.80	0.27
寄付金	9.90	0.87
合計	56.70	4.24

(厚生労働省資料)

3 解決を要する問題

1) 選手の強化費負担

平成18年の調査では、1人平均111万円であった。(別紙資料3)

当協会をとおり、強化費として競技団体に助成した金額は、平成21年度で2,3億円

2) 競技団体の体制強化

傘下の競技団体は、運営拠点や専任職員がなく、強化スタッフもボランティアであり、資金も少ないことで、その活動は大きく広がらない。

3) 国庫補助金及び公的補助金の補助率の引き上げ

当協会及び傘下競技団体の自己資金は少ない状況にあり、補助率が3/4、2/3の場合、有効な資金活用ができない状況にある。

① 国庫補助金 (補助率 10/10, 2/3)

② 独立行政法人福祉医療機構 (補助率 10/10)

③ スポーツ振興基金助成金・スポーツ振興くじ助成金 (補助率 2/3)

障害者スポーツ競技団体協議会 登録団体一覧表

No	団体名	障害別参加状況					法人格	備考
		視覚	肢体	聴覚	知的	精神		
1	全日本ろうあ連盟ｽｰｯ委員会			○			財団	☆ 統括団体
2	日本車椅子ﾊﾞｽケットｰﾙ連盟		○					☆
3	日本身体障害者ｱｰﾁｰﾘｰ連盟		○					☆
4	日本盲人マソｼ協会	○					NPO	☆
5	日本肢体不自由者卓球協会		○					☆
6	日本身体障害者水泳連盟	○	○	○				☆
7	日本視覚障害者柔道連盟	○					NPO	☆
8	日本盲人会連合ｽｰｯ協議会	○					社福	統括団体
9	日本車椅子ｳｲﾝﾊﾞｽケットｰﾙ連盟		○					
10	日本身体障害者陸上競技連盟	○	○	○				☆
11	日本障害者ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ協会		○	○				☆
12	日本障害者ｽｰｯ射撃連盟		○				NPO	☆
13	ﾓｯﾄｲﾄﾞﾞ ﾞﾊﾟﾝﾝ	○	○				NPO	☆
14	日本障害者自転車協会	○	○					☆
15	日本ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾃﾞｽ連盟	○						
16	日本車いすﾃﾞｽ協会		○					☆
17	日本障害者ｼﾞｭﾄﾞ協会	○	○	○				
18	日本身体障害者野球連盟		○					
19	日本車いすｸﾞﾗﾝｽｰｯ連盟		○				NPO	☆
20	日本ｼﾞｰﾙｰﾙ協会	○						☆
21	日本視覚障害者ｼﾞｭﾄﾞ協会	○					NPO	
22	日本障害者乗馬協会		○					☆
23	日本聴覚障害者ﾗｸﾞﾋﾞｰ連盟			○				
24	日本電動車椅子サッカー協会		○					
25	日本障害者ｼﾞｭﾄﾞｲｽﾄｰｽﾞｲﾝｼﾝｸﾞ協会		○					
26	日本ｳｲﾙﾃﾞｱｰﾗｸﾞﾋﾞｰ連盟		○					☆
27	日本ｼﾞｭﾄﾞｲﾝｸﾞﾊﾞｰﾙｰﾙ協会		○					☆
28	日本ﾃﾞﾝｼﾞｭﾙ協会			○			NPO	
29	日本ﾊﾞﾘｱﾝﾄ-ｸﾞｲﾀｰ協会	○	○	○				
30	日本ﾊﾞｯﾁャ協会		○					☆
31	日本障害者ﾌﾗｲﾝｸﾞﾃﾞｲｽｸ連盟	○	○	○	○	○		
32	日本視覚障害者卓球連盟	○						
33	日本ﾌﾞﾗｲﾄﾞﾊﾞｰﾙｰﾙ連盟	○						
34	全日本ｸﾞﾗﾝﾄﾞｼﾞｭﾄﾞｰﾙ連盟	○						
35	日本ﾊﾝﾃﾞｨｯｸﾞﾌﾞｯｶｰ連盟				○			☆
36	日本FIDﾊﾞｽケットｰﾙ連盟				○			☆
37	日本ﾃﾞｲｽｲﾝｸﾞﾊﾞｰﾊﾟｰﾘﾌﾗｲﾝｸﾞ連盟		○					☆
38	日本知的障害者卓球連盟				○			☆
39	日本知的障害者水泳連盟				○			☆
40	日本車椅子空手道連盟		○					
41	日本脳性麻痺者人制ﾌﾞｯｶｰ協会		○					☆
42	ｽﾊﾟｰｼﾞｭﾙﾄﾞ ﾞｸﾞｽﾞ日本				○		NPO	統括団体
43	日本障害者ｽｷｰ連盟	○	○	○	○		NPO	☆
44	日本視覚障害者サッカー協会	○						☆
45	日本知的障害者ｽｰｯ連盟				○		NPO	☆
46	全日本視覚障害者ﾊﾞﾘｯﾄﾞﾝｸﾞ協会	○						☆
47	日本ﾀﾞﾌﾞﾙ-ﾌﾞﾗｲﾄﾞ ﾞｲﾝｸﾞ協会	○	○				NPO	☆
48	日本ｱｲｽｸﾞﾗﾝﾄﾞ ﾞｯｶｰ協会		○					☆
49	日本精神保健福祉連盟精神障害者ｽｰｯ推進委員会					○	社福	統括団体
50	日本車いすﾌﾗｲﾝｸﾞ協会		○					★ ☆
51	日本車椅子ﾋﾞﾘｱｰﾄﾞ協会		○				NPO	★ ☆
52	日本障害者ｰｰﾝ ﾞﾙｽﾞ連盟		○					★ ☆
53	日本ﾌﾟﾗｲﾄﾞ-ﾘﾝｸﾞ協会		○					★ ☆

★印は準登録団体 ☆印はJPC加盟団体

日本パラリンピック委員会 加盟団体一覧表

別紙資料2

No	団体名	障害別参加状況				法人格	備考
		視覚	肢体	聴覚	知的		
1	AR-ph	日本身体障害者アーチェリー連盟		○			
2	AT-ph	日本身体障害者陸上競技連盟		○			
3	BM-ph	日本盲人マラソン協会	○			NPO	
4	BO-ph	日本ボッチャ協会		○			
5	CY-ph	日本障害者自転車協会		○			
6	EQ-ph	日本障害者乗馬協会		○			
7	FB5-ph	日本視覚障害者サッカー協会	○				
8	FB7-ph	日本脳性麻痺7人制サッカー協会		○			
9	GB-ph-m	日本ゴールボール協会（男子）	○				
10	GB-ph-f	日本ゴールボール協会（女子）	○				
11	JU-ph	日本視覚障害者柔道連盟	○				
12	PW-ph	日本ディスエイブルパワーリフティング連盟		○			
13	RO-ph	日本アダプティブローイング協会	○	○		NPO	
14	SA-ph	ヨットエイドジャパン	○	○		NPO	
15	SH-ph	日本障害者スポーツ射撃連盟		○		NPO	
16	SW-ph	日本身体障害者水泳連盟	○	○			
17	TT-ph	日本肢体不自由者卓球協会		○			
18	VS-ph-m	日本シッティングバレーボール協会（男子）		○			
19	VS-ph-f	日本シッティングバレーボール協会（女子）		○			
20	WB-ph-m	日本車椅子バスケットボール連盟（男子）		○			
21	WB-ph-f	日本車椅子バスケットボール連盟（女子）		○			
22	WF-ph	日本車いすフェンシング協会		○			
23	WR-ph	日本ウィルチェアラグビー連盟		○			
24	WT-ph	日本車いすテニス協会		○			
25	ISH-ph	日本アイススレッジホッケー協会		○			
26	SKI-AS-ph	日本障害者スキー連盟（アルペン・身体）	○	○		NPO	
27	SKI-NS-ph	日本障害者スキー連盟（クロスカントリー・身体）	○	○		NPO	
28	WC-ph	日本チェアカーリング協会		○			
29	1	BA-ph	日本障害者バドミントン協会	○			
30	2	CS-ph	日本車椅子ビリヤード協会	○		NPO	
31	3	LB-ph	日本障害者ローンボルス連盟	○			
32	4	TB-ph	全日本視覚障害者ボウリング協会	○			
33	5	WD-ph	日本車いすダンススポーツ連盟		○	NPO	
34	1	D	財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会		○	財団	統括団体
35	2	AT-d	日本聴覚障害者陸上競技協会		○		
36	3	BA-d	日本ろう者バドミントン協会		○		
37	4	BAS-d-m	日本デフバスケットボール協会（男子）		○	NPO	
38	5	BAS-d-f	日本デフバスケットボール協会（女子）		○	NPO	
39	6	BU-d	日本ろう者武道連合		○		
40	7	BW-d	日本ろう者ボウリング連合		○		
41	8	FB-d-m	日本ろう者サッカー協会（男子）		○		
42	9	FB-d-f	日本ろう者サッカー協会（女子）		○		
43	10	SW-d	日本ろう者水泳協会		○		
44	11	TE-d	日本ろう者テニス協会		○		
45	12	TT-d	日本ろう者卓球協会		○		
46	13	Vo-d-b	JDVA（日本デフバレーボール協会）（ビーチバレーボール）		○		
47	14	Vo-d-m	JDVA（日本デフバレーボール協会）（男子）		○		
48	15	Vo-d-f	JDVA（日本デフバレーボール協会）（女子）		○		
49	16	SKI-AS-d	日本ろう者スキー協会（アルペンスキーチーム）		○		
50	17	SKI-CU-d	日本ろう者スキー協会（カーリングチーム）		○		
51	18	SKI-NS-d	日本ろう者スキー協会（クロスカントリーチーム）		○		
52	19	SKI-SNB-d	日本ろう者スキー協会（アルペンスノーボード）		○		
53	20	SKI-SHP	日本ろう者スキー協会（スノーボードハーフパイプチーム）		○		
54	1	ID	日本知的障害者スポーツ連盟		○	NPO	統括団体
55	2	ID-AT	日本知的障害者陸上競技連盟		○	NPO	
56	3	ID-BA	日本FIDバスケットボール連盟		○		
57	4	ID-FB	日本知的障がい者サッカー連盟		○		
58	5	ID-SW	日本知的障害者水泳連盟		○		
59	6	ID-TT	日本障害者卓球連盟（知的）		○		
60	7	ID-SKI-AS	日本障害者スキー連盟（アルペン・知的）		○	NPO	
61	8	ID-SKI-NS	日本障害者スキー連盟（クロスカントリー・知的）		○	NPO	

選手が自己負担した1年間の強化費

N=152 パラリンピック参加選手対象（北京・トリノパラ代表選手）

2008パラリンピアンズ協会調査

- 1 北京・トリノパラリンピックに参加した選手は、年間1人平均111万円の強化費を自己負担している。（冬季 163万円 夏季 102万円）

1	50万円未満		20.40%
2	50万円以上	100万円未満	34.90%
3	100万円以上	150万円未満	18.40%
4	150万円以上	200万円未満	11.80%
5	200万円以上		11.20%
6	不明		3.30%

- 2 選手が自己負担した強化費のうち、海外遠征費、強化合宿費に割合が非常に高い

1	遠征費	85.50%
2	合宿参加費	65.80%
3	スポーツ道具・器具	31.60%
4	競技用車椅子・義足	27.60%
5	治療（マッサージ・鍼）	15.80%
6	ウェア	15.10%
7	通常の練習	9.20%
8	通常練習以外のトレーニングジム費	6.60%
9	施設使用料	3.90%
10	コーチ	2.00%
11	その他	4.60%

- 3 北京大会から、パラリンピックメダリストに報奨金が出るようになったが、オリンピックの約1/3の金額となっている。

		オリンピック	パラリンピック
JOC/JPC		○	北京から
競技団体		○	×
企業		△	×
金額	金	300万円	100万円
	銀	200万円	70万円
	銅	100万円	50万円